

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	真友サークル中央療育センター		
○保護者評価実施期間	2024/10/1		2024/10/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024/10/1		2024/10/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024/11/30		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>職員の配置と支援の質</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者が職員の配置数が適切であると評価 保護者が職員が共感的に支援していると回答 専門的な視点での報告・対策の充実を求める声あり 	<p>職員の配置と支援の質</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門職の配置 事業所内会議での支援共有 	<p>職員の配置と支援の質</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の資格や専門性を分かりやすく掲示 より専門的な視点での報告や助言を強化
2	<p>子どもが安心して通える環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者が子どもが安心して通っていると回答 保護者が子どもが通所を楽しみにしていると回答 	<p>子どもが安心して通える環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動スペースの構造化や清潔さの維持 活動プログラムの工夫と多様なイベントの開催 	<p>子どもが安心して通える環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化したビルからの移転検討 放課後児童クラブ・地域交流の機会の拡大
3	<p>情報共有の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 送迎時や「HUG」での写真・文章による情報伝達が好評 LINEでの情報発信も行われ、満足度が高い 	<p>情報共有の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 「HUG」を活用した保護者との密な情報共有 LINEや通信による情報提供 	<p>情報共有の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムのわかりやすい周知（HUG以外の方法も検討） 保護者向けの研修や情報提供の充実

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>非常時対応の周知・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルの周知不足 避難訓練や防犯訓練の実施状況が保護者に伝わっていない 	<p>非常時対応の周知・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや訓練の実施はされているが、保護者への伝達不足 	<p>非常時対応の周知・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 訓練実施の様子をLINEや通信で発信 事故防止マニュアル・緊急時対応マニュアルを保護者向けに配布
2	<p>家族支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> きょうだい参加型イベントの要望あり 家族向けの研修会・ペアレントトレーニングの実施率が低い 	<p>家族支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会やイベントの企画・運営の負担 参加希望者の把握不足 	<p>家族支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> きょうだい参加型イベントの試験的实施 ペアレントトレーニングの案内を定期的に発信
3	<p>地域交流の機会の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブや児童館との交流機会が少ない 	<p>地域交流の機会の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 他機関との連携体制がまだ十分ではない 地域イベントとの調整が難しい 	<p>地域交流の機会の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館や放課後クラブと合同イベントの企画 地域団体と連携し、子どもが参加できる機会を創出